# 受験体験記 2023

加藤学園暁秀中学校・高等学校

# 「強烈な」努力

東北大学　医学部　医学科

**杉　山　琳太郎**

（暁秀中）

まず、私の受験をサポートし、応援してくださった両親、友人、中学校と高校で関わってくださった全ての先生方に感謝を申し上げたいです。本当にありがとうございました。今までの努力が報われて本当に良かったです。

さて、この体験記では、受験をする上で大切なことを３つ紹介したいと思います。皆の参考になることが１つでもあればいいなと思います。

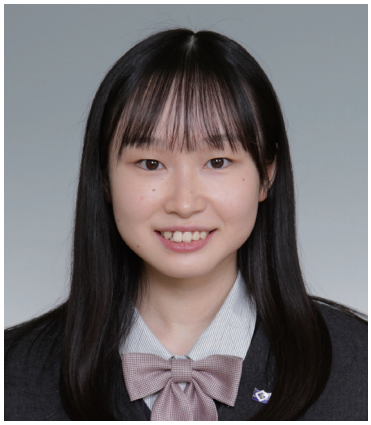
１つ目は、基礎を疎かにしない事です。基礎は本当に重要です。分かりやすく言えば、学校で学ぶ内容や問題集は基礎、塾で習う内容は応用という形に分類できると思います。私も始めから難解な概念が理解できたり、難しい問題集をやっていたりしたわけではありません。数学では『４step』や『青チャート』を１周した上で、より上位の問題集、例えば『大学への数学』などに取り組んでいました。化学は『ニューグローバル』と『リードアルファ』のみやっていました。背伸びをして発展的な問題を解くよりも、基本的な内容を一通り学習することを優先すべきです。

２つ目は、早め早めの行動をする事です。私の場合、総合型選抜で 11 月に学力試験があったため、学力の早期完成が求められました。入試本番までに残された時間は有限であるため、時間を無駄にしないことが大切です。そのためにもまず、スキマ時間を使いましょう。例えば、バスや電車で通学している時、英単語や社会などの暗記科目を学ぶことが挙げられます。また、スマホには SNS や YouTube など、誘惑がたくさんあります。私の場合、スマホは自分の部屋に持ち込まず、親の近くに置いて管理してもらいました。もちろん、講義の視聴など、スマホを学習に使う場合もあります。そのように、必要な時以外はスマホを使わない方が良いと思います。

３つ目は、周りの大人を頼る事です。両親や学校の先生方を含め、皆生徒の第一志望校合格のために、手厚いサポートを今まで行っていて、これからもより一層支えてくれると思います。質問をしたり、アドバイスを受けたりすることで、効率的に受験勉強ができます。私は、担任の伊藤佳苗先生に受験に関して様々な支援をしていただき、渡邊毅先生からもらった数学のプリントを毎日解いていました。また、受験を控える中で、久保田先生には面接の練習を、岩﨑先生には過去問題の添削をそれぞれしていただきました。そして、両親は塾でのお弁当を作ったり送迎をしたり、落ち込んでいる自分を励ましてくれたりしました。合格は自分一人の力で成し遂げられるものではありません。周りの人の支えが不可欠です。

以上が受験において重要な事です。皆もこれから勉強が忙しくて辛くなる時もあると思いますが、友達と適度に気分転換をして、リフレッシュしつつ、学習を頑張ってほしいです。

渡邊毅先生が私に仰った言葉を借りますが、「強烈な」努力をして、受験に立ち向かってください。心から応援しています。



# 後悔のない受験

東京医科歯科大学　歯学部　歯学科

**土　屋　莉　世**

（暁秀中）

まず始めに、私の受験生活を支えてくださった先生方、受験を共に乗り越えた友人、陰で支えてくれた家族に、この場を借りて感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

私が受験を通して感じたことは、自分独自の勉強法を確立することが大切だということです。私は、心配性で細かいことが気になってしまうタイプであり、効率の良い勉強は出来ませんでした。そのため、与えられた課題を完璧にこなし、問題集の解説を端から端までしっかりと読む、というように一つ一つの勉強を丁寧に仕上げることを心がけていました。また、私は塾の体験に参加したのですが、学校と塾の両立は難しいと感じ、学校で勉強を精一杯頑張る方が自分に向いていると考えました。そのため、私は学校の先生方のご指導の下、勉強を丁寧に行い、基礎を固めることを中心に受験勉強をしました。これは私に適していると思った勉強法ですが、皆さんも自分にとっての最適の勉強法を早めに身に付けておくと良いと思います。

また、心身の健康を保つことも大切だと感じました。十分な睡眠と栄養がとれていないと、勉強に集中できません。私は、高校３年生になってからは、眠くなったらすぐに寝て、無理をしないように意識していました。その結果、体調を崩すことなく受験に挑むことができました。受験前日は不安で夜遅くまで勉強したい気持ちはありましたが、十分な睡眠をとり、自分の実力を出し切ることが最優先だと思いました。受験直前は、これまでの努力を信じ、無理のない範囲で頑張ることを心がけると良いと思います。受験期には色々なことを考え過ぎてしまい、不安になることもありますが、不安を抱えたまま勉強しても集中力が落ちるだけです。私は、特に辛いと感じたときには友達と話すことでリフレッシュしていました。

最後に、私は受験を通して無駄な努力は何一つないということを学びました。私は、第一志望の国立大学前期試験が終わった後も、後期試験に向けて勉強を続けました。第一志望の大学には合格することが出来ませんでしたが、最後まで諦めずに努力した結果、後悔のない受験となりました。これは自分が最後まで努力を続けることができた達成感によるものだと思います。また、後期試験で合格できたことで、自分の努力が報われたような気がします。この合格は私一人の力ではなく、ご指導頂いた先生方と一緒に勝ち取ったものだと思います。この感謝の気持ちを忘れずに大学でも勉学に励み、精進したいです。

皆さんも、友達と過ごす時間や学校行事を楽しみながらも、後悔のない高校生活、受験生活を送ってください。

# 未来の受験生への伝言

東北大学　工学部　電気物理情報工学

**西　垣　玲　音**

（暁秀中）

始めに、私の受験を応援し、支えてくださった先生方、友人、そして家族に心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、思い返してみても、長い長い受験生活でした。今は、大学合格への喜びと達成感でいっぱいです。ここからは、私が大学受験を通して大事だと感じたことを３つ、後輩の皆さんへの伝言として書き残しておこうと思います。

１つ目は、受験情報収拾を早めにすることです。私は高校３年生の春まで、「自分は国公立大学志望なのだから、推薦入試は関係ない。私立大学については、秋以降に調べれば大丈夫だ。」と考えていました。しかし、夏休み前に学校の課題として志望校について調べていた時に、国公立大学にも推薦入試があり、一般受験とも併願可能であることを知りました。結果として私は推薦入試には落ちましたが、国公立大学に受かるチャンスが２回以上に増えると考えれば、検討すべきです。そして、私立大学についてですが、秋以降になると共通テスト対策や模擬試験、書類の作成などで非常に忙しくなって、調べている時間は無くなってしまいます。一般受験や推薦入試以外にも、大学受験には多くの方式が存在します。なるべく早い時期に調べ始め、自分の得意なことを活かせるものを選んでください。

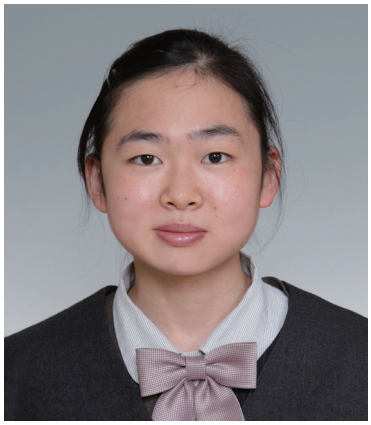
２つ目は、メンタル管理です。受験生活で我慢することは多いです。趣味や SNS など、勉強のために減らすことはもちろん大事ですが、ゼロにはしないでください。多少の息抜きがないと、精神的に参ってしまい、勉強にも手がつかなくなります。自分なりの工夫をして減らすまでに留めてください。次に、共通テスト後についてです。推薦入試や自宅勉強を選んだ人、遠征する人がいなくなり、登校する人は本当に少なくなります。それでも私は、可能な日は学校に来ることをお勧めします。これは、勉強への集中や生活習慣のキープはもちろんですが、何より人に会えます。友人に会って他愛もない会話を休み時間にするだけで、ストレスはかなり和らぎます。

３つ目は、他人の勉強法に流され過ぎないということです。皆さんの周りにも、自分より勉強のできる人がいると思います。その人たちの勉強法を真似してみるのは良いことですが、自分に合わないと思ったらすぐにやめてください。参考書も、皆が使っている定番の参考書だからといって、自分にも合うとは限りません。私は数学の参考書で定番とされている『青チャート』は、厚すぎてやり切れる気がしなかったので１冊もやりませんでした。どんなに良い参考書でも、最後までやり切れなくては何の意味もありません。

以上が、私が後輩の皆さんに伝えたい３点です。

最後に、今皆さんが志望校にしている大学を、出願するその時まで諦めないでください。志望校を下げるのは簡単ですし、いつでもできます。しかし、一度下げると自分の目指せる最高ラインも下がります。悔いのない大学受験にしてください。

来年、皆さんにも素晴らしい春がやってくることを心より願っています。



# 受験への心構え

北海道大学　獣医学部　共同獣医学課

**髙　橋　和　琴**

（暁秀中）

自分の合格を知った時の喜び、安堵は本当に形容し難いものでした。今でも、半ば信じられない気持ちでいます。私は、受験を通して、多くのことを経験し、学びました。この体験記では、その中でも、私が重要だと思ったことを３つ紹介させていただきます。

１つ目は、覚悟です。受験は長く辛い道のりです。そんな日々の中で、もう投げ出してしまいたいと思い、泣きたくなる日が来るかもしれません。２月半ば、私立大学志望者は受験を終えていきます。その中で、最後の最後まで、２月 25 日の国公立大学前期試験、３月 12 日の国公立大学後期試験まで緊張の糸を切らさないでいるのは、生半可な気持ちではできません。第一志望合格に向けて、どんなに辛くても、走り切る覚悟が自分にあるのか、自問自答してください。まだ覚悟ができていない人は、自分の将来について今一度よく考えてください。腹が決まれば、多少の困難にも立ち向かえます。

２つ目は、感謝です。実際に勉強し、受験をするのは、受験生自身です。しかし、受験にかかる費用、例えば受験料・交通費・宿泊費・参考書の代金・模試の受験料、これらは全て親が払っています。総計すると、かなりの額になります。また、受験が佳境に入ると、受験生は普段以上に神経質になります。そのせいでなかなか気付きませんが、受験生の親は私たちが思っている以上に気を遣ってくれています。先生方も、友人たちも、気遣い、応援してくれています。私の第一志望合格は、私一人の力では決して成し遂げることはできませんでした。受験が終わったら、心からの感謝を述べてください。

３つ目は、分析です。自分の得手不得手・性格、自分に最適の勉強方法・睡眠時間、自分の将来、これらについて考え、自分について知ってください。自分について知った後は、自分の癖、起こしやすいミスについて分析してください。ミスをしても大丈夫です。大切なのは、自分のミスから学び、それを繰り返さないように努力することです。

小学校２年生で我が家に迎えた犬が、我が家に来てすぐにヘルニアと診断され、手術を受けた後も獣医さんになついている姿を目にして以来、私はずっと獣医師を目指してきました。父方の三兄弟と祖父が全員医師という家系の中で、獣医師を目指す私の夢を、一切反対することなく、応援し続けてくれた家族には感謝しかありません。また、私の夢をずっと応援し続けてくださり、相談にも親身になって乗ってくださった先生方、友人たち、本当にありがとうございました。

勉強が辛くなったときには、自分を支えてくれている人々のこと、自分の将来のことを思い浮かべ、もう一踏ん張りしてください。皆様のご健闘を心よりお祈りしています。

# 今すぐ机に向かえ

九州大学　理学部　物理学科

**西　村　　陸**

（長泉町立北中）

私は高校に入学したての頃、どちらかといえば落ちこぼれの部類だったと思います。始めの英語と数学の習熟度別クラスは一番下で、とても悔しかったのを覚えています。そこから考えると、今こうして九州大学に受かったのは奇跡のようにも思えます。

そんな私が勉強を始めたのは、高１の秋からでした。高校受験に落ちた苦い経験がきっかけでした。ここから、大学受験に向けて勉強をしていったわけですが、いくつか感じたことがありました。

まず、地方から有名大学を受けることの大変さです。もし、MARCH 以上の大学を受けるなら、ライバルは関東圏の進学校出身者です。私たち、地方出身者は、基本的に彼らよりも遅れをとっている状態です。なぜなら、彼らは中学生の段階から高校の学習内容を手につけることがザラだからです。また、塾の質など、明らかに地方出身者にとっては不利な条件で戦わなければならない状況です。

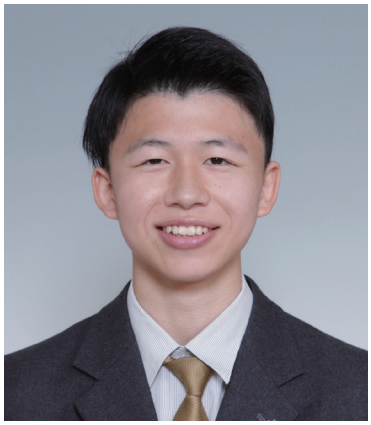
次に、高３からの成績の伸びにくさです。高３にもなると、勉強をしっかりと頑張る人が格段に増えます。自分で頑張ったと思っても、周りも同じくらい勉強していては、自分の順位は変わりません。なかなか結果が出ず苦労しました。

最後に、受験の残酷さです。共通テストで点が取れなければ、行きたい大学を受験することさえできません。いくら努力しても実を結ばないことも多々あります。だからこそ、なるべく早いうちから、この文章を読んだらすぐに、受験勉強を始めてほしいです。どんな学年でも、今日から勉強を頑張って欲しいです。

私自身、元々東京工業大学を志望していました。しかし、過去問題や模試の結果から、厳しいと感じて、共通テスト後に志望校を変更し、九州大学に合格しました。九州大学に合格できたのは、早い段階から勉強をしていた結果だと思います。でも、もっと早くから意識して学習できていたら、東京工業大学にも届いていたんじゃないかとも考えてしまいます。

高３生の人は、必死に勉強していると思いますが、一つ、伸びないことを理由に受験校を下げないで欲しいです。伸びない事は前記しましたが、目標を落としてしまうと、どんどんとやる気が削れていってしまうと思います。最後まで諦めずに突き進んでください。諦めなければ、最後の最後まで自分の絶対的な実力は伸びます。自分自身も、最後の共通テスト模試から本番までで、100 点伸びました。

厳しいことも書きましたが、頑張っている人にはあまり意味のないものだったかもしれません。この文章を読んで勉強する気が湧いたら幸いです。結果が出ることを願っています。



# 受験を終えて

広島大学　理学部　生物科学科

**片　山　拓　海**

（三島市立南中）

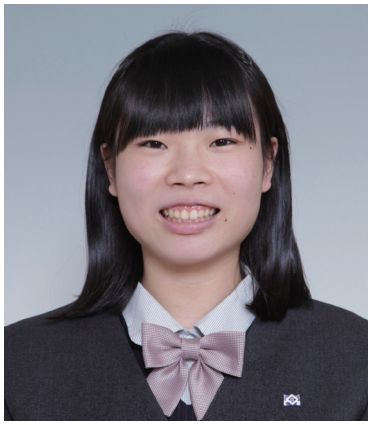
始めに、今までお世話になった先生方にこの場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。この体験談で、私が思う大学受験で大切なことを３つみなさんに紹介したいと思います。

１つ目は、大学に行く目的を持って受験勉強に取り組むことです。私は、最初の頃は、どうしても成績を上げることに意識が行き過ぎてしまい、成績を上げることが受験勉強の目的になっていました。そのため、問題が解けなかったり、模試の結果が期待通りでなかったときに、勉強に対するやる気が出なくなることがしばしばありました。そこで、私にはゲノム編集の研究者になり社会貢献したいという将来の目的があり、志望する大学にはゲノム編集の研究が充実しており、だから、その大学に入ることを目標に今勉強しているのだというように、大学に行く目的と目標を分けて整理することで自分の気持ちを改善しました。また、大学に行く目的をノートなどに書き留めておくことをおすすめします。受験勉強に追い込まれたときや、勉強に対するやる気がでないときに大学に行く目的を再確認することで、勉強のモチベーションを維持できると思います。

２つ目は、メリハリをつけて勉強することです。私は、部活から帰ってきた後は、疲れて勉強に集中することができなかったので、夜はリラックスしたり、睡眠を優先し、その分朝に十分な時間をとって気持ちを切り替えて勉強するようにしていました。また、私は苦手科目の勉強をおろそかにしがちなので、放課後に、学校で苦手科目の勉強を必ず終わらせてから塾に行き、得意科目を勉強しました。つまり、自己分析をしたうえで、場所や時間ごとに優先順位や取り組む科目を決めて集中して勉強し、効率よく受験勉強をすることが大事だと思います。

３つ目は、受験に関する情報を得ることです。受験はまだ先だから、とりあえず勉強しとけばいいやという考えは危険です。受験の情報を得ることにより、具体的に何の対策をしなければならないのかが分かり、優先順位を立てて勉強することができ、志望校合格へ近道で向かうことができます。今からただひたすらに勉強する人と、情報を収集してから優先順位を立て勉強する人との間には、たとえ勉強量が同じだったとしても、大きな実力の差が生まれてしまいます。情報を得るときは、まずは大まかな受験の流れを押さえ、その後、大学の入試方式や自分が志望する大学の試験の特徴など、コツコツと情報を得ていくことが大事だと思います。

受験生活は、これから過ごしていく大学生活４年間、または６年間に大きな影響を与えると思います。受験勉強のプロセスを大切にし、悔いの残らないように頑張ってください。



# 継続は力なり

静岡県立大学　看護学部　看護学科

**関　　佳那子**

（暁秀中）

受験生活を終えた今、私は一般受験をして良かったという気持ちでいっぱいです。なぜなら、いくつもの大学の受験や面接を繰り返すうちに、本当の自分に向き合うことができたのではないかと思うからです。成績が落ちてしまった時も、推薦入試に合格した人たちを見て精神的につらかった時も、不安で勉強が手につかなかった時もありました。しかし、周りの方々に励ましていただきながら、何とか受験を乗り越えることができました。長く辛かった受験生活を振り返ってみて、これから受験を迎える皆さんに、私は３つのことをお伝えしたいと思います。

１つ目は、しっかりとした基礎作りを怠らないことです。基礎ができていないと、本来点が取れるところで点を落としてしまうだけでなく、応用力を付けることが難しくなってしまいます。しかし、基礎力を身に付けるには、莫大な時間を要します。私も高２の冬ぐらいから、受験を意識してはいたものの、基礎作りが終わったと実感したのは高３の秋頃でした。ただ、日頃から課題に真摯に取り組み、間違えた問題を理解できるようになるまで解き直したり、解説を読み込んだりすることだけは、ずっと続けていました。定期テストや様々な模試の結果に一喜一憂するのではなく、どこが分かっていないのかをきちんと把握して、そこを重点的に見直すようにすれば、力が付いていくと思います。

２つ目は、自分が納得できる結果が出せるように、あきらめず勉強し続けることです。受験勉強の途中で、勉強を投げ出したくなったり、何もしたくないと思ったりする時が出てくると思います。しかし、その勉強は未来の自分のために不可欠なものです。自分が100％の勉強をしないまま受験して不合格になってしまったら、後悔することになるでしょう。自分が今できる最大限の努力を続けることが、大学合格への大きな一歩になると思います。

３つ目は、どれだけ長い間、ある大学を第一志望に掲げていたとしても、それが急に変わることがあり得るということです。私は、２月の中旬ごろまで、静岡県立大学ではなく他の私立大学を第一志望にしていました。理由は、取得できる資格や設備が、他の大学と比べて充実していると思ったからです。しかし、大学４年間をいかに有意義に過ごすかということを考えて、私は最終的に静岡県立大学に進学することを決めました。皆さんも自分の将来のことを真剣に考え、自分に最適な大学を選んでください。

最後に、どんな時も一番近くで支えてくれた家族、熱心に指導して下さった先生方、何度も相談に乗ってくれた友人、長い間一緒に勉強を続けてきたクラスメイト、応援してくださったすべての方々に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

そして受験生の皆さん、最後まであきらめず努力し続けて合格をつかみ取ってください。応援しています。

# 受験の産物

福井大学　工学部　機械・システム工学

**山　本　泰　誠**

（沼津市立第五中）

始めに、今まで支えてくださった皆様ありがとうございました。受験を終えて、後輩の皆さんに参考にして欲しいことをここに残したいと思います。もしも、一年前の自分がいたら、読んでもらいたいことを書きました。

勉強面に関しては、失敗した部分の方が多い受験期でした。１つ目は、参考書の使い方についてです。大事なことは自分のしている勉強に自信を持ち、丁寧に終わらせることです。私は、自分のしている勉強が正しいのか不安になり、自分のレベルに合っていない参考書に手を出してしまった時期がありました。とても無駄な時間でした。新しいものに手をつける際には、自分の力を過信せず、気持ちよく勉強できるものをお勧めします。また、教科書の重要問題を繰り返すだけでも、十分な受験勉強になると思います。私も試験の前日や、当日の休み時間には、教科書を使って勉強していました。

２つ目は、学校の授業についてです。皆さんが現役生である限りは、日々、多くの時間を学校で過ごしていると思います。さらに、受験学年は授業数も多くなり、学校での授業の受け方が重要になります。時間のない受験期では、皆さんそれぞれ、勉強に優先順位をつけることになると思いますが、第一に、授業の内容を吸収することです。後に実感すると思いますが、暁秀の授業は、夏休みを過ぎた頃から畳み掛けてきます。先生方のサポートが充実しているということです。私の場合は、有機化学の授業内容の復習を後回しにしてしまい、共通テスト直前に苦労しました。私のように後悔しないためにも、授業を最優先すること強くお勧めします。

生活面については、勉強よりも優先するべきだと思います。第一に健康体を保つことが肝心です。毎日三食と十分な睡眠をとるという、当たり前のことを徹底するだけで十分です。また、休憩時間の使い方をルーティーン化することをお勧めします。直前期の私は、音楽を聴くことをルーティーンとしていました。休憩の使い方もルーティーン化することで、試験会場であっても緊張をほぐすことができ、いつも通りの実力を出すことにつながります。勉強では多少の無理は大いにするべきですが、自分の体に無理をかけないように気を付けてください。

最後に、受験は精神戦だということを伝えておきます。私は、最終的に志望校を変えましたが、結果的には自分なりの良い選択をできたと思っています。それは、自分をよく見つめていたからできたと思っています。当然、志望校を変えた時には、ためらいがありましたが、私はその大学に行くより、現役で国公立大学を合格し、次のステップに進むことの方が重要だと思いました。だから、第一志望を諦めても、現役合格は最後まで諦めませんでした。

皆さんも、それぞれが最優先に考えていることは最後まで諦めずに頑張ってください。

# 合格した後に

弘前大学 教育学部 学校教育教員養成課程
初等中等教育専攻 小学校コース

**佐　原　　泉**
（裾野市立西中）

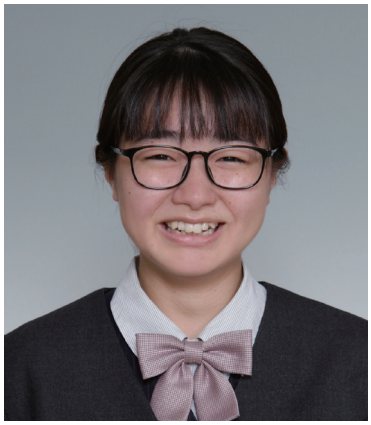
私が受験を通して重要だと思ったことや、やっておけばよかった事を伝えます。

１つ目は、自分に合った生活リズムを見つけ、それを崩さないことです。私は夜に最低６時間半は寝ないと、日中の集中力が低下しやすいタイプでした。なので睡眠時間を削ることは最後までしませんでした。また、朝６時に起きることは小学校からの習慣だったため、受験期でも必ず朝６時に起き、登校する７時半までの時間をできるだけ活用していました。受験の日も、同じ時間に起きることで緊張を和らげていました。また早く起きたことで試験まで時間があり、当日の朝に赤本だけでなくいつも使っていた参考書も振り返ることができました。

２つ目は、１、２年生から全教科幅広く勉強をすることです。苦手だと思う教科があるのは仕方がないと思います。ですが、苦手だからといってまったく勉強をしないでいると共通テスト、私立大学の試験で苦労します。私は英語が中学生から苦手科目でした。１年生からずっとクラス分けは一番下のクラスで、模試でも 60 点を超えたことがありません。更に、英語を避けた受験をするから、最低限の勉強だけで良いと考え、普段はテスト直前の１週間ほどしか勉強していませんでした。そのため、３年に上がってからようやく英語をやらなければと気付き、基礎からやり直す事になりました。しかしその進捗も遅く、10 月に入ってから共通テスト対策に移りました。そして、結果は悪く、英語は共通テストで過去最低点を記録しました。その分得意な社会科で稼ぐことができ、総合点は過去最高点でしたが、第一志望への出願を諦める事になりました。

３つ目は、面接対策についてです。自分の将来像や志望理由を何回も紙に書き出すことが面接対策には効果的でした。書くことで、考えた文章を自分の言葉にすることができ、面接中に緊張して「何を言うか忘れた…。」という事態や、試験官に暗記していることを喋っていると思われることが少なくなりました。また、初対面の人と話すのが苦手だったり、試験会場が私語厳禁だったりするとできませんが、試験前に同じ受験生と話してみてください。緊張がほぐれ、試験官と話す前に口を動かしておく練習にもなります。ただ、私は教育学部で面接試験を受験したため、元々人と接する仕事を志望している人たちの集まりだったことから、話しかけても答えてくれる人が多かっただけかもしれません。そのため、他の学部も同じだと言い切ることはできません。

実のところ、私は最後まで一生懸命に勉強していたかと問われると、「していなかった」と自信を持って答えます。この体験記を読んでいる人に絶対に真似してほしくない受験生でした。こんな私を最後まで心配し、応援してくださった両親、先生方に心から御礼申し上げます。ありがとうございました。



# 感謝

鳥取大学　医学部　保健学科　看護学専攻

**田　村　えりか**

（御殿場市立富士岡中）

まず始めに、これまで支えてきてくれた家族、先生方、同級生の皆さん、本当にありがとうございました。

私自身、鳥取大学を第一志望にやってきましたが、あまりの自信のなさから、模擬試験の志望校や、学校の志望校調査には、長い間書くことができずにいました。第一志望として実際に模試の志望校欄に書く決心がついたのは、高３の秋です。今思えば、かなり遅いと思います。それでも共通テスト模試では、一度もＣ判定を崩すことができませんでした。初めてＡ判定が取れたのは、共通テスト本番だけでした。みんなで受ける最後の模試が 11 月に終わってから、共通テスト本番までの冬の最後の追い込みは、かなり重要です。なぜかその期間は、自分でも驚くほど勝手に勉強に集中できましたし、朝起きてから夜寝るまで、ずっと勉強しても苦でないどころか、不安で勉強しなきゃと思い、寝付けないこともありました。全国の受験生が特に頑張る期間だと思うので、このタイミングは逃さない方が良いと思います。

前述したように、志望校をしっかり見始めたのが遅かったことから、二次試験特有の英作文、英訳の対策に苦労しました。もともと英語の長文読解をやる際には、何となく意味がわかれば良いという気持ちで勉強していたので、しっかり「訳す・作る」ということは難しかったです。講習の先生や担任の先生に、時に厳しく、時に優しく導かれ、何とか乗り越えました。傾向だけでも早めに見ておいた方が、授業の受け方や勉強の仕方等に反映しやすいと思います。また、英単語は本当にしっかりやったほうが良いです。曖昧に覚えた単語は全く知らない単語と同じくらい、長文を読むときにつっかかります。私はコロケーションしかやる余裕がありませんでしたが、世間では、単語帳２冊目に行くことも重要視されていると聞き、途中で、無理にでも２冊目をやったほうが良いのかもしれないという不安もありました。大学のレベルにもよりますが、個人的には１冊を完璧に仕上げることを、まず第一に考えるべきだったと感じています。

共通テスト本番では、練習より 30 点以上下がった科目があったり、逆に、それ以上に上がった科目があったりなど、想定外のことは普通に起きました。何があっても悔いのないよう、点を取りやすい科目、そうでなくても勉強していて苦でない科目は全部がっつり勉強すべきです。

私はなかなか家で勉強することができなかったので、いつも塾や公共の自習室にこもっていました。こもっている間は、孤独を感じることもあったけれど、友達と気持ちを共有したり、家族に辛さをぶつけたり、先生に諭してもらったりと、私は周りの全面協力のもと、受験期を過ごしました。受験勉強は辛いものですが、先生や親や周りの友達への感謝、協力することを忘れず頑張ってください。

# 本気になれない人へ

宮崎大学　農学部　森林緑地環境科学

**池　田　彩　雲**

（富士宮市立富士宮第四中）

この文章は 1000 文字くらいだそうです。皆さんも来年書くのですから、今から構想を練っておいてもいいと思います。

私は、去年の春なんて部活で忙しかったし、塾の広告を見れば難関大学でも医学部でもなく、夢を一つ諦めたのもあって、捻くれてもいました。私みたいな人は、この話が少し参考になってくれたら嬉しいです。

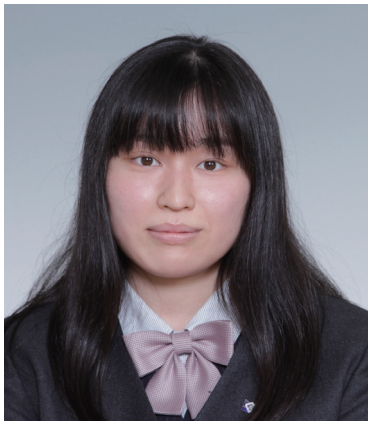
色々な形で計画を立てるのは大事です。習慣的に、朝化学をやって、電車の中で日本史、休み時間は英語、帰宅後数学と、決めてしまうのも計画と言えます。しかし、今までの訓練虚しくどうしても出来ないものもあります。計画が立てられない、いつも出来ない計画を立てるとわかっていれば、道は２つ。先生に予定を監視してもらうか、立てないか。計画を立てないと、気分がのる教科ができるので楽です。欠点は、苦手なものがどんどん出来なくなることです。苦手なものだけはやる時間を決めたほうがいいです。気が散らなくて、学校に行く前または学校にいる間。わからないところをすぐ人に訊けるからです。

勉強は好きですか？勉強という言葉には「嫌なことをする」という意味が元なので、質問が成り立っていませんね。好きなのは学問ですか？学習ですか？好きな学問が、中途半端なものだと、高三ではついていけなくなることがあります。学習が好きだと、心身折れやすかったり、志望理由が分からなくなったりします。

私は日本史という学問が好きでしたが、知識を苦なく取り込めるスピードが遅くて、ぐちゃっと覚えると、分かるはずなのにできないのが悔しかったです。それから、学習も、教科は問わず、書いて覚えるのが好きですが、いつまでも書き続けたかったのに、手首の腱鞘炎が痛くて書けなかったときもあります。問題集を買うときや勉強のやり方を考えようというとき、好きな学問であれば、余白があることをお勧めします。そこに関連する別の知識や教科書に載っていない解法を、あとから書き込んでいきます。受験勉強という枠にとらわれず、高校範囲を超えていても、好きなら大丈夫です。学習が好きなら、好きなやり方でやるのが一番です。私はよくまとまった穴埋めの問題集を、ひたすら書写していました。穴埋めは一問一答より答えを含めた一つの文になっているからです。

あとは評価と対策。これは寝る前にやるといいです。「暗記は夜」と聞いたこともあるし、布団に入って、寝るまで一人反省会をやると、引きずってしまうとテレビでも聞きました。模試のあとわからない問題の答えを見て、そうか、そうすればいいのかというのを布団の中で逡巡して、朝起きたら覚えているものからテスト直しノートにやるのです。本当に忘れないし、テスト直しの宿題が早く終わります。

最後にこの場をお借りして、前述のような怠惰な私を最後まで見捨てないでいてくれた先生に感謝します。



# 受験を終えて

新潟大学　歯学部　歯学科

**鎌　田　星　歌**

（沼津市立第四中）

私は学校推薦型という方式で、大学に合格することが出来ました。その私が受験を終えて大切だと思ったことを皆さんにお伝えします。

まず１つ目は、受験の準備は早めからした方が良いということです。私は高校１年生の頃から歯学部志望だったので、歯学部のある大学や受験方式について詳しく調べる時間がありました。学校推薦型でも、大学入学共通テストで大学が指定する点数以上を取っていないとその時点で不合格になる大学、面接試験がグループ面接である大学、試験日が共通テスト前にある大学や共通テスト後にある大学など様々です。早い段階から調べることで目指す大学を絞れたり、対策する時間を多く取れたりします。

２つ目は、受験に関して悩んだときは、先生に相談するということです。加藤学園暁秀高等学校は、私立なので、先生の変動が少ないため、受験生を何回も受け持っている先生が多く、受験に詳しいです。受験する大学に悩んだときや、受験する大学の試験問題についてもわからないことがあったら質問したほうが良いと私は思います。私の受験した歯学部では、私立大学でも全て面接がありました。私は周りから心配されるくらい面接が苦手なタイプでした。そのため、先生に何度も練習してもらい、最終的に、質問された事柄全てにしっかりと目を見て答えられるようになりました。志望理由書や小論文でも、先生方に何度も確認してもらいました。自分で合っていると思っていても間違っている表現などあるので、必ず添削してもらうべきです。

３つ目は、受験前日はしっかり寝て当日は焦らないということです。前日になって、急いで詰め込もうとして、深夜まで勉強をするという人もいると思います。前日の夜に詰め込んでも定期試験なら何とかなるかもしれませんが、大学の入試はそうはいきません。詰め込もうとすると、逆にごちゃごちゃになって分からなくなってしまうこともあります。また、ちゃんと睡眠を取らないと入試では厳しいです。当日のためにも、前日はしっかり寝ましょう。そして当日、周りが分厚い参考書で勉強していて焦ったり、周りの人が自分より頭が良さそうに見えて不安になったりすると思います。入学して周りの子と話すと、みんな同じことを思っていました。不安で分厚い参考書を見ていたけど、緊張で全然頭に入ってこないという人がたくさんいます。だから、落ち着いて試験を受けてください。周りに気を取られて実力が出せないのはもったいないです。

そして面接についてです。面接では、練習の時に一言一句同じことを言おうとすると、本番では緊張して最初が出てこないと、全部出てこなくなってしまいます。そのため、このことは伝えたいということだけ考えて練習した方が良いと思います。

最後に、私のこの結果は、周りの友達、先生方、そして家族のおかげです。本当に感謝しています。みなさんも周りの人と助け合い、感謝を忘れずこれからの受験頑張ってください。応援しています。

# 受験を終えて

東京外国語大学　言語文化学部
言語文化学科　アラビア語専攻

**岡　安　紅　葉**
（暁秀中）

私の利用した入試方式である、学校推薦型選抜において、私が重要だと感じた点をあげさせていただきます。

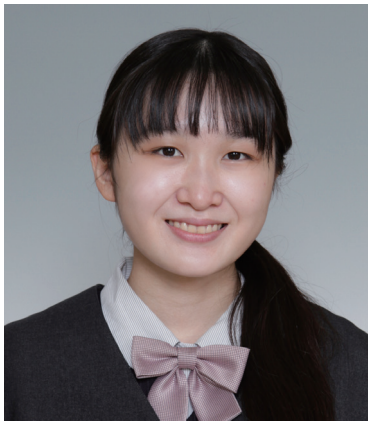
まず１つ目に、募集要項を確認して早めの準備に取り掛かることです。というのも、出願直前では、推薦入試の準備と並行して一般入試の勉強をすることになり、とにかく時間がありません。私は高３の夏から出願書類の作成に取り掛かりましたが、余裕は全くありませんでした。書類作成過程では、気づきや課題がどんどん増えていきます。そのため高３の春くらいには手をつけると良いと思います。

２つ目に、出願条件に英語の資格等が記載されている場合は、できるだけ早めに取得しておくことです。この英語資格等において注意しなければいけない点として、少なからず、出願書類提出期日前までには、条件を満たした英語の資格の証明書が手元になければなりません。私の場合、英語検定の結果を提出する予定だったので、出願時期と照らし合わせると高３の第１回の英検がラストチャンスでした。しかし、一回で自分の思うようなスコアや級を取ることは簡単ではありません。そのため、高２頃から、自分に必要な資格がいつまでに必要かを確認して準備をすると良いと思います。

３つ目に、自分の関心のある学問に関係する本をたくさん読むことです。シンプルですが、これは出願書類作成時にはもちろんのこと、小論文、面接の場面でも役に立ちます。また、余裕があれば１人の作者の本を読み続けるのではなく、同じテーマでも異なる作者の本を読むことをおすすめします。私も、複数の異なる作者によって書かれた本を読んでいたために、面接での予期せぬ問いに答えることができました。

最後に、私が一番大切だと思ったことは、その大学・学部でなければいけない理由を持ち続けることです。簡単に聞こえるかもしれませんが、意外とこの理由を見つけるには時間がかかります。「同じ学問を専攻できる大学は他にもたくさんあるのに、なぜその大学なのか。」、「〇〇〇については他学部でも学べるが、なぜこの学部にこだわるのか。」という問いに答えられるようになるには、自分の志望校だけでなく、それ以外の大学・学部のこともよく知り、比較しながら考えなければなりません。だからこそ、私は特に、大学側が推薦型選抜を受験する学生に求めていることの基本がこれに当たると考えています。でも逆に、この理由が確固たるものであって、大学側を説得することができれば、合格の可能性が一気に高まるはずです。

特に体調には留意して、これまで自分のしてきた努力に誇りを持って入試に挑んでください。最後は、自分の熱意を大学にぶつけるだけです。皆さんの成功を心から願っています。



# 受験体験記

早稲田大学　先進理工学部　生命医科学科

**髙　橋　せ　な**

（暁秀中）

私の第一志望校は東京大学でしたが、残念ながら不合格でした。しかし、東大を目指し長い時間努力を重ねてきたことで、自分の実力を高められ、多くの大学に合格でき、また人生の糧になる学びを得ることができました。ここでは、私が受験を経験し学んだことを書いていきます。

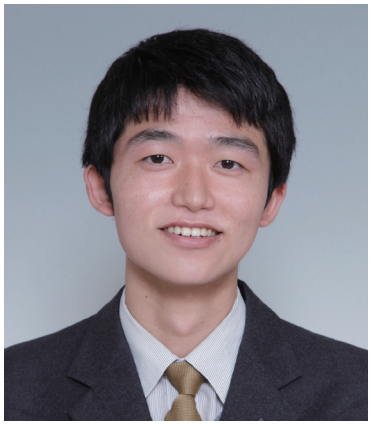
１つ目に、志望校についてです。私は理系で将来研究者になりたいと考えているため、研究が盛んで、自分の興味のある分野を学べるかを重視し志望校を決めました。また、私は最新の研究、情報、人、場所へのアクセスの重要性を強く感じていたので、首都圏にある大学を選びました。また、オープンキャンパスに参加し、大学生や教授の話を聞き、学部選びの参考にしました。学科の違いが分かりにくい場合は、説明会で直接在学生に質問し、違いについて詳しく教えてもらいました。

２つ目は、生活習慣についてです。生活習慣で一番気を付けていたことは、睡眠時間の確保です。切りのいいところまでと勉強を続け、睡眠不足で体調を崩すことは受験生によくあります。しかし、試験時間である朝から午後に１番頭が働く状態にしておくことが大切であるため、夜は就寝時間を決め、しっかり睡眠時間を確保し、健康管理に努めました。

３つ目は、勉強についてです。私は、時間勝負で、解ける問題は落とせない共通テストがすごく苦手でした。共通テストは、学校の模試や問題集でたくさん演習を積むのが効果的だと思います。私自身、おそらく一番演習を積んだのは数学で、センター試験の問題を 30 分で解いていました。マーク式の数学をより早く解けるようになりたい人にはおすすめです。理科は、教科書を一から読み直して知識を整理しました。二次試験対策については、志望大学の問題に記述が多かったので、塾や学校の先生に添削をお願いしました。勉強に関しては、当たり前のことですが、実直にコツコツ積み上げるしかないと思います。また、高い目標を目指し力をつけると、おのずと各大学の対策をせずとも合格を勝ち取れるようになります。実際の受験で驚いたのは、試験の内容が想像以上に変化することです。例えば今年、慶應大学では英語の記述問題が導入され、早稲田大学と東大は物理が異常に難化、東大物理はツイッターのトレンドに上がるほどでした。共通テストはまだまだ変化するでしょうし、各大学も今まで変化がなくても、問題のタイプや難度の変化が予想されます。どんな事態があってもその場で柔軟に対応できるよう、志望校以上の実力をつけておくことが大切だと思います。

最後に、受験を通して私が一番大事だと思うのは、自分の確固たる芯を持つことです。自分が大学で何を学びどうなりたいのか、最後までぶれずに自分を持って精一杯努力をすれば、迷うことも後悔もありません。

私の選択と決意を理解し応援してくれた両親、先生、友人に、そして私を強くしてくれた東大に感謝します。ありがとうございました。皆さんの健闘を祈っています。



# かけがえのないこの一年

同志社大学　社会学部　メディア学科

**堀　井　栞　稀**

（暁秀中）

まず、毎年配られるこの合格体験記に載るなんて、勉強とは無縁だった中学生の頃の私には、全く考えられないことでとても光栄なことです。今回は､受験を通して学んだ大切なことを伝えたいと思います。

まず、基礎知識の大切さです。英語なら英単語・英文法、国語なら古文単語など、受験当日までほぼ毎日やっていました。英単語なら単語を見て 0.1 秒で訳が思い浮かぶようにしました。結局、最後にものを言うのは基礎力です。どんなに志望校の過去問題を多く解いたとしても、基礎力がないと、そこから得られる知識が少なくなってしまいます。反対に、基礎力があると、受験期後半には、過去問演習などを通して、大きく成績を伸ばすことができます。直前期になると、過去問演習に取り組み始め、基礎を疎かにして単語などの知識が抜けることがあります。入試当日まで基礎の確認は続けるべきだと思います。

次に、過去問が最強の教材であるということです。私は、模擬試験の点数は壊滅していました。実際、最後の模試までずっと E 判定で、先生たちに「同志社大学は厳しい」と言われたほどです。しかし、それでも結果的に同志社大学に 4 つ受かることができたのは、誰よりも多くの過去問を解き、誰よりも点数を伸ばす方法を考え、自分ならいけると信じ続けていたからだと思っています。当たり前の話ですが、受験は入試当日に合格最低点より高い点数を取れば受かります。そのために、過去問を解くことで、その大学特有の傾向や時間配分を知ることができ、配点が高い分野に比重を置いて、配点が低い分野は比重を軽くするなど、効率よく点数に結びつく勉強をすることができます。そのためにも、高 3 の夏休みに一度、志望校の過去問を解いてみることをお勧めします ( そのときは点数が悪くて当然です )。私は、同志社だけで過去問を国語は 20 年、世界史も 20 年、苦手だった英語は 30 年分解きました。ただ、自分の反省点として、過去問演習に慣れてきたとき、復習や分析をいい加減にしてしまい、点数が伸び悩むことがありました。ただ多く解けば良いと言うものではないので､皆さんには気をつけて頂きたいです。また、直前期は本番と同じ時間に Youtube で試験会場の環境音を聞きながら過去問を解いたりして、入試当日と同じように解く練習をしていました。

メンタル面で、私は自分に甘く、勉強していないでだらけていると、自己嫌悪に陥ることが多々ありました。多くの人もだらけてしまうことがあると思います。しかし、そんなとき自分を責めすぎないであげてください。どんなにサボってしまったとしても、「明日は朝早く起きて頑張ろう！」と思って、失敗を引きずらずに切り替えましょう。この切り替えは、受験当日にも活きます。

最後に、いろいろなことを犠牲にして頑張ったこの受験で得られたものは、この先の人生でかけがえのない宝物になることを確信しています。

これから受験を迎える皆さんが、悔いのない結果を得られることを心から願っております。

# 通過点

立教大学　法学部　政治学科

**平　野　幸　大**

（沼津市立第三中）

これから大学受験を経験する皆さんの糧になることを願って、私が大学受験を通して得た様々な経験をこの場で共有したいと思います。私の体験記が、皆さんが受験を乗り越えていく際の一助となることを切に願っています。

さて、まず１つ目は、『基礎』の重要性についてです。これは全ての科目に言えることですが、基礎をおろそかにしている受験生は、受験で勝つことはできません。英語は単語・熟語・基本的な文法・解釈、古文漢文は文法句形・単語、社会は歴史の流れの理解・歴史用語の暗記、これらの事項を、私はそれぞれの科目の『基礎』と考えています。これらの基礎が不完全なのにも関わらず、ちょっと背伸びして難しい参考書や問題集を解き始めてみたり、はたまた志望校の過去問題を解き始めてみたりなど、これらは完全に愚行です。時間の無駄ですので、絶対にやめてください。先へ先へと進みたい気持ちを抑えて、まずは基礎を確実に攻略してください。

２つ目は、自分のメンタルとの付き合い方についてです。あくまでも個人的な意見ですが、受験において一番大事なことは、『自分自身のメンタルを安定させること』だと、私は思います。どんなに良い勉強法があっても、どんなに良い参考書があっても、自分のメンタルが不安定では意味を成しません。なぜなら、それらの勉強法や参考書を駆使して実際に勉強をするのは、結局自分自身だからです。私が受験期に行っていたメンタルを安定させる方法を２つ紹介します。

まずは、『自分を責めすぎないこと』です。受験生は、何かにつけて自分を責めがちです。模試の結果が悪かった、自分の思うように勉強できなかった、娯楽にふけってしまった etc…、自分が後悔している過去の出来事に執着して、自分を過度に責めるのはやめましょう。もう既に起こってしまったことは、今更どうすることもできないのですから。難しいかもしれませんが、受験期は常にポジティブ・シンキングで生活するよう心がけましょう。

次は、『「落ちてもいいや」と思いながら受験期を過ごすこと』です。大学受験は人生の『通過点』の一つにすぎません。仮に第一志望の大学に落ちて、第二第三志望の大学に行くことになっても、その大学で過ごす４年間を充実したものにできれば良い、と私は考えていました。大学受験は人生の『通過点』であり、『ゴール』ではありません。受験で失敗しても残りの人生で挽回すれば良い、少々大げさな話かもしれませんが、このように考えれば、受験へのプレッシャーも幾分か軽減され、メンタルも安定すると思います。

最後に、今回の受験を通してお世話になった先生方・家族に謝意を表したいと思います。本当にありがとうございました。これから受験を迎える皆さん、自分の力を出し切り、精一杯頑張ってください。

# 受験を終えて

早稲田大学　先進理工学部　応用化学

**上　野　洋　太**

（三島市立北上中）

まず始めにこの場をお借りして、３年間お世話になった先生や両親、そして支えてくれた友人の方々に心より感謝を申し上げます。受験を終えた今だからこそ分かる３つのことや、オススメの勉強のやり方などを書いていきます。みなさんが受験を乗り越える助けになれば幸いです。

１つ目は、体調管理の大切さです。睡眠時間の削りすぎには特に注意し、最低でも５時間半は寝るようにしてください。睡眠を削ったとしても確保できる勉強時間は多くても４時間ぐらいですが、もし体調を崩せば最低でもその日の勉強時間の 10 時間以上を失うことになります。特に 10 月ぐらいからは、焦って睡眠を削る人が増加しますが、自分の限界を越えない範囲で削ることを意識してください。

２つ目は、復習を疎かにしない事です。授業の復習は人によって進度が違うので、行うかどうかは本人の判断次第ですが、演習問題や過去問題、塾でやった問題などは必ずその日に、遅くとも週末までには復習してください。解き直すのが一番良いですが、解説を思い出すだけでも効果はありますので、ぜひとも行って欲しいです。

３つ目は、人の意見はまず聞いてから受け入れるか、否定するかを決めてほしいという事です。先生の進路指導や、保護者の話に全く聞く耳を持たずに、塾やネットの話だけを信じ受験を進める人がいます。確かに先生や保護者の話は、自分を現実に向き合わせるため、聞くのが辛い時もあるかもしれません。保護者に進路を理解してもらえず大変な思いをする事もあるかもしれません。しかし、あなたの周りに悪意を持って進路指導する人はほとんどの場合はいないと思うので、まずはしっかり聞いてから取り入れるのかどうか考えて、最後に自分で決めてください。

ここからはオススメの勉強法を書いていきます。英語はとにかく単語、熟語、長文解釈という基盤の育成を大切にしてください。ここが固まっていないと、どんなに長文読解を行っても絶対に伸びません。単語帳や熟語帳はなんでも良いですが、長文解釈は『肘井学の読解のための英文法』や『ポレポレ』がオススメです。長文読解の時には、長文の音読も必ず行うようにしてください。数学は、闇雲に問題を解くのではなく、解けた場合はなぜその解法が思いついたのか、解けなかった場合は問題文をどう読めばその解法が思いついたのかを考え、数学を発想ゲームから問題文のヒントを正しく読み取るゲームに変えていってください。化学は、理論は『照井シリーズ』で計算力をつけてください。無機はひたすら暗記ですが、ゴロを活用すると楽になると思います。有機は知識を身につけたら駿台の『有機化学演習』がオススメです。物理は『エッセンス』、『良問の風』、『名門の森』で良いと思います。学校の最後の方にやる演習プリントもかなり力がつきます。

これから受験を迎える皆様を応援しています。

# 合格までの道

国際基督教大学　教養学部
アーツ・サイエンス学科

**ニックス　恵　梨**
（下田市立下田中）

私が第一志望の大学に合格するまでの道のりを伝えようと思います。

まず、私の志望大学が決まったのは高２中旬、皆が受験期ムードになり始めた頃でした。 私は元々緊張に弱く、一発勝負のテストには自信がなかったので、比較的早い段階から指定校推薦入試を考えていました。段取りが分からずに不安になったこともあるので、指定校推薦入試を考えている人は、指定校推薦入試のシステムを先生と確認しておくと良いです。

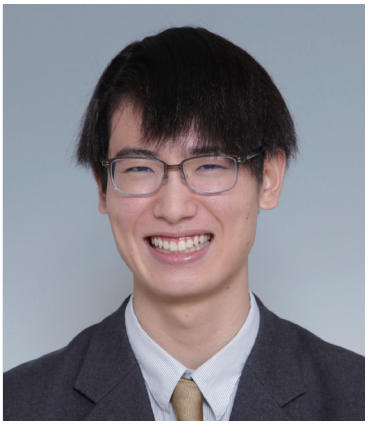
私は高１から塾に通い始めました。高１の時点では入試と言われてもパッとしませんよね。推薦型選抜にはさらに馴染みがないことと思います。私もそうでした。ですが、塾はそんな私を手厚くサポートしてくれました。私は塾に大変お世話になったので、試しに通ってみるのも良いと思います。

私が一番に力を入れていて、自信持って言えることは、やはり定期テストについてです。成績に直結する定期テストこそが指定校推薦への道ですので、１年生のうちから頑張ってください。人によって勉強の仕方はぞれぞれですが、私はひたすら書いて覚えるタイプだったので、定期テスト用のノートを作っていました。ノートの隙を埋める満足感があり、勉強も捗りました。声に出して読むのも良いです。色々試してみて、自分に合った勉強法を探しましょう。

指定校推薦を取るには、大学側が設けた条件を満たす必要があります。多くの大学は英検を採用していますが、大学によってはそうでない場合もあるので、IELTS や TOIFL など、様々な検定を受けておくと良いです。高３になると他のことで忙しくなり、検定の勉強に時間を割くことが難しくなります。高１か高２のタイミングで検定を取っておいた方が、後から心配をせずに済むと思います。試験の方式は少しずつ異なるので、自分が点を取りやすい試験を見つけてください。

次に、指定校推薦入試の面接練習と小論文についてです。面接と小論文の練習は、始まるのを待っていては対策期間が減るばかりです。自分から予定を担当の先生方に聞きに行くようにしましょう。私は担当の先生に教わった通りに、この大学に入りたいという気持ちを率直に伝えることを意識しました。余計なことを言わず、単調に、落ち着いて話すことは大変ですが、大学への信念が相手側によく伝わると思います。小論文にもたくさん種類がありますが、過去問題を使った対策とちゃんとした時間管理で十分力がつくと思います。試験時間 110 分で、試験の始めに渡されるグラフと文章の読み取りと、それに関して自分の意見を問う問題の計４問が課されました。初めは 110 分では問題が解き終わらず、過去問題も１つだけだったので焦りましたが、担当の先生に添削をしてもらい、試験当日までに何とか時間内に仕上がるようになりました。練習あるのみです。事前準備を怠らないで下さい。

最後に、沢山の人に支えられて今の私があると思います。私を後押ししてくれた家族と先生方に感謝を申し上げます。



# 後輩へ４つのアドバイス

愛知医科大学　医学部　医学科

**矢　尾　夏　大**

（暁秀中）

DP を終え、大学受験を終え、進学大学が決まった今、後輩の皆さんに４つのアドバイスを書き残します。

1.　先生を頼ってください

DP の勉強は大変だと思います。人それぞれの課題に今ぶち当たっている、もしくはこれからぶち当たることと思います。そんな時には、一番身近にいる先生方を是非頼ってください。

どんな風に勉強をしたら良いか、どんな風に essay を書けば点を取れるのか、この問題がなぜこの回答になるか分からないなど、授業内容やテストに関することは、全て先生方が一番熟知しています。授業中に聞けなかった場合は、授業後や放課後に時間をいただいて、積極的に聞いてください。自分が直面している問題の突破口が見えてくると思います。その際には、教えていただく立場であることを自覚し、学びたい意欲と謙虚な姿勢を心がけてください。先生方は、必ず私たち生徒に対し親身に相談に乗ってくれます。

普段の授業以外でも、task、IA や EE の supervisor などで先生方に関わる機会は多々あると思います。分からないことは、逐一確認することが問題解決の秘訣だと思います。

2.　勉強を楽しんでください

DP は難しいものではありますが、捉え方次第では楽しいです。

私は、EE や IA に取り組んでいるときは、「自分はガリレオ・ガリレイ、天才科学者だ」と思い込むようにし、壁に紙を貼り、数式を書いて楽しんで勉強しました。Chemistry のテスト前には Mr.Jones を真似て演じ、誰もいないベッドに向かって授業したこともあります。他に、oral なども自分なりの勉強法で楽しむようにしました。

これらの勉強法が全ての人に合うとは思いません。しかし、自分が勉強をしていて楽しいと思えるような工夫をしてください。勉強後の自分へのご褒美でも良いし、推しグッズを身に着けるなどでも良いと思います。やらされている感でイヤイヤやる勉強では、長期戦である mock や、DP 本試験まで気力が続かなかったり、効率が悪かったりします。自分に合った勉強法で DP を楽しみながら乗り切ってください。

3.　志望大学は彼女・彼氏です

これは、担任の先生に言われた言葉です。

自分の入りたい大学に、猛アピールします。大学について、沢山調べます。説明会には、必ず参加します。志望理由書は、何十回も書き直します。先生や友達との面接練習を重ね、本番の大学面接には、完璧な状態で挑みます。何が何でも合格をつかみ取るために、これらの下準備や練習を怠らないでください。だって、志望大学は彼女・彼氏です、精一杯全力を尽くしてください。

4.　感謝を忘れずに

私は、自分の選んだ道を支え応援してくれた家族・先生方・友達に、心から感謝しています。本当にありがとうございました。DP は一人では乗り切れません。周りの気遣いや支えがあって、やっと乗り切れるものです。だから、自分の味方をしてくれる家族、支えになってくれる先生方、共に戦い協力しあえる仲間を大切にしてください。

受験生の皆さん、これから皆さんの夢に向かって頑張ってください。陰ながら応援しています。

# DP 突破のための心構え

National University of Singapore /
Business Administration

**池　田　楓　悠**

（暁秀中）

私にとって DP は、自分の精神力を遥かに強めてくれた壮絶な体験でした。現時点で第一志望大学は結果待ちですが、無事にいくつかの合格を頂くことができ、晴々とした気持ちでいます。この先受験を控えた皆さんも、各自様々な困難に直面し、乗り越えていくことになるかと思います。今回は皆さんに向けて、私が考える、受験 /DP を突破するために大事なマインドセットを共有させていただきます。

1.　勉強のスタイルは人それぞれ

私は昔から、他人からしたら「そのまま暗記すれば良いじゃん」と思うようなところを、その裏にある理屈まで知っておきたいタイプでした。「考える時間が無駄」、「効率悪い」などと言われることもありましたが、今となっては、その過程で積み上げてきた基礎知識や思考力が、DP のより発展的な内容を理解する上で役に立ったと思います。また、何においても手を抜けない性格がコンプレックスでしたが、IA や EA をおろそかにせず、突き詰めて制作したことで、本試験の成績を底上げできたとともに、ボーナス点も多く得ることができました。

このように、自分の欠点だと認識していた部分が、結果的にはとても良い方に働いたと思っています。なので、皆さんも、そういった自分の特性を必ずしもネガティブに捉える必要はなく、むしろ、自分の強みになるように利用し、必要に応じて修正していけば良いのではないかと思います。

2.　日々の課題一つ一つを真剣に取り組む

私は中学も暁秀だったので、4 年間の MYP を通して着実に身につけてきた学力や、その他諸々のスキル（文章力やリサーチスキル）が、DP をやっていく上でとても役に立ったと感じています。ですから、DP に突入する前の比較的余裕のある時期は、ただひたすら学校で出されるタスクに全力を注ぎ、基礎能力を高めておくことをお勧めします。

3.　失敗しても諦めない / 第一志望は変えない

私の anticipated grade と mock の成績は、最終的な IB スコアよりも 4 点も低く、気持ちをへし折らせそうになったことがあります。しかし、自分の目指すレベル / 第一志望は下げずに、むしろ今の自分には何が足りないのだろう？と冷静に分析していきました。「高望み」と思われるほど大きな目標を設定し、それを達成しようという強い意志を持つことで、自分を極限まで追い込むことができたのだと思います。

皆さんも、私のように、mock などで思い通りの結果が得られないことがあるかもしれません。その時は決して諦めずに、勉強習慣の欠点や、努力不足な部分に気付けるチャンスだと思い、リフレクションを入念に行い、努力を続けてほしいと思います。

最後に、受験期間中は、努力が報われなかったり、不合格をもらったりと、辛いことは沢山あるかもしれませんが、全てを乗り越えた後には、「結果オーライだったな」と思える日がきっと来ると思います。どんな困難にも全力で戦い続けることで、後悔しないような受験をして欲しいです。皆さんの健闘を心より祈っています。

# 国内大学入試と DP 試験勉強の両立法

The University of Melbourne / Commerce

**白　井　遼太郎**

（暁秀中）

大学で学びたい学問は早くから決まっていましたが、肝心の学びたい場所が高３になっても決めきれなかった私は、国内大学と海外大学をいずれも IB を利用し併願受験することにしました。海外入試の出願期間は DP 試験以降であった為、比較的余裕を持って準備に取り掛かれるのですが、多くの国内入試は DP 試験前後（大学によっては DP 試験期間中）にバッティングしてしまいます。さらに、募集人数が「若干名」であったり、志望理由書の他にも、TOK・EE・CAS での経験が問われるエッセイがあったりするので、私の経験から言えば、国内大学入試と DP 試験勉強の両立は非常に困難でした。そんな中、私は国内大学に２校出願し、どちらの大学からも合格を頂くことができました。今回は、国内大学入試と DP 試験勉強の両立法について、微力ながらアドバイスができればと思います。

まずは、余裕を持ってスケジュールを立てることです。国内大学を受験する DP 生は大体イメージがつくと思いますが、高３の夏休みは地獄のような日々です。EA・IA の総仕上げ、DP 試験に向けた勉強、さらに志望理由書などの作成に追われます。そこで私が意識したことは、早い段階から計画を立てておくことです。私は、モックが終わり、次第国内大学の募集期間を確認し、やるべきことを逆算して計画を立てました。中には募集日程が複数ある大学もあるので、DP 試験期間と重ならない日程を選び受験するのも良いかと思います。

次に、常に早め早めの行動を取ることです。私は、入試に必要な志望理由書やエッセイなどの添削を国語の先生にお願いしたのですが、常に余裕を持ってお願いするようにしていました。そうすることにより、先生からのフィードバックとじっくり向き合う時間を作ることができるので、より洗練されたエッセイが出来上がります。

最後に、一人で抱え込まないことです。これだけ過酷な日程だからこそ、周りを頼ってみることも大切です。私は、友達とお互いの得意科目を教え合ったり、オーラルの練習を実際にしてみたりしていました。分からない問題がある時には、先生やクラスメイトに質問しまくりました。聞かぬは一生の恥であるということを再認識できたのは大きかったです。

余談になりますが、私は中高６年間、バスケットボール部に所属していました。バスケットは１点の重みが他のスポーツに比べては少なく、試合に勝つには一つのミスからいかに切り替え、継続的に良いパフォーマンスをキープできるかが鍵です。長期戦である DP においても同じことが言えます。暗記や一夜漬けが効かない DP 試験勉強において大切なのは継続性です。定期試験やモックで納得のいかない結果が出たとしても、すぐに気持ちを切り替え、前を向いて努力し続けることが大切です。

後輩のみなさまも最後まで DP を走りきれるよう、心から応援しています。

# 一旦、教科書を閉じよう

National University of Singapore /
Business Administration

**沼　上　初　日**
（暁秀中）

「失われた 30 年」と平然と大人たちは言うが、私たちの世代にとっては「失われた」と過去形にできるような生ぬるい問題ではない。この 30 年間、所得の成長なく、国の借金は膨らみ、社会保障費は倍以上に増えた。私達は、これらの問題の皺寄せを受けなくてはならない。受け入れ難いかもしれないが、「日本は貧しい」というのが私達の世代の常識となる。

だが、これは私達が「何もしなかった」場合の未来である。日本が本格的に経済の危機を迎えるのは 2030 年代前半と予測されている。まだ時間はある。私達はこの時間をどのように過ごせば良いのだろうか？

この状況に抗う一つの手段として、学生には「勉強」がある。日本人は「勉強する」「受験する」こと自体を目的と考えてしまう傾向がある。だが、本当に重要なのは、勉強はあくまで「手段」と理解し、自分の将来を切り開いていくために、この手段を活用することだ。

私からのアドバイスはただ一つである。「今から 1 週間は勉強をするな」だ。この 1 週間を使って、狂うほど考えて欲しい。自分はこの人生で何を成したいのか。この日本の現状の中、自分と自分の大切な人と、どのように生きていきたいのか。それが整理できて初めて、自分なりの勉強をする意味（勉強という手段の活用方法）が定義できる。その定義に良し悪しはない。 「勉強に意味を感じられないから、高校を退学する」という常識を覆すようなものでも良い。人と同じような定義をする必要はない。自分なりの定義ができて、初めて本当の意味で前進できる。

自分なりの定義ができ、「勉強」という手段をうまく活用したいと思ったのなら、暁秀は素晴らしい場所だ。先生方や友達、先輩には様々な面で助けてもらい、導いてもらった。この場を借りて最大級の感謝の言葉を申し上げたい。次は私が託していく番だと思う。もし勉強や進路に関する相談等があれば、 hatsuhi.numagami.821@gmail.com に気軽にして欲しい。

私はみんなが「どのように勉強をすれば良いのか？」というアドバイスを書いているところ、日本の社会情勢について考察をした。「常体」、「勉強をするな」、「連絡先の開示」。私は「『受験体験記』はこうあるべきだ」という常識を覆し、自分なりに意味を考え、この稚拙な文を執筆した。人と違うことをすると常に批判が伴う。この選択が正しいのかどうかは分からない。しかし、今日本という船が沈み始めている中、他の人と同じことをすることほど危険なことはない。

だから恥を忍んで宣言しよう。「私は、日本を新しい時代へと引っ張る経営者になる」。この宣言が、皆さんが常識にとらわれず、自分で考え行動していくきっかけとなってくれたら嬉しい。きっとその積み重ねが、私達が生きる時代を豊かにしていく。

さあ直ぐに教科書を閉じて、自分の人生について 1 週間じっくり考えよう。